

集中改革プラン平成18年度取組実績

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
民間委託等の推進	浄化センターの運転管理業務委託	浄化センターの運転管理業務について、比較項目を検討する。 第1処理場の運転管理業務を平成20年4月から民間委託する方向で作業を進める。		— 浄化センター
	直営し尿収集範囲の縮減	前年比で収集作業嘱託職員3名と収集作業車両1台を削減した。 平成20年度より収集地区の一部を許可業者に移管することを予定している。	6,555	浄化センター
	保育所の民営化及び統廃合	内部で保育所、保育園の民営化、統廃合の資料（人口、運営状況、他市の取組事例等）の情報収集を行った。		— 少子化対策課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
指定管理者制度の活用	指定管理者制度導入	平成18年度から152施設に制度を導入した。	33,000	施設管理課
	直営施設に指定管理者制度導入を検討	きらめき工房に制度導入をする方向で調整した。 きらめき工房保護者会との懇談会を3回実施し、意見・要望の聞き取りを行った。		— 高齢障害課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
定員管理の適正化	集中改革プランにおける定員管理	平成18年4月1日の伊賀市職員数1,455人、平成19年4月1日の職員数1,429人、26人を削減した。 ※定員適正化計画による職員の平成18年4月1日の伊賀市職員数993人、平成19年4月1日の職員数969人、24人を削減した。 (145,444千円の削減額)	145,444	職員課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
給与等の適正化	給与等の適正化	国家公務員に準拠した額に扶養手当見直し。 国家公務員に準拠し昇給の1号抑制を実施した。(効果額3,619千円)	3,619	職員課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
	行政評価システムの導入	行政評価システムを導入し、事務事業1,194事業について評価を行った。		— 行政改革・政策評価推進室
	病院機能評価の取得	検討委員会を設置し業務内容や院内環境を改善し、病院機能評価を受験した。		— 市民病院庶務課
	権限移譲の推進	庁内での権限移譲対応整理シートの取りまとめを行った。 パッケージを中心に情報提供や協議を行い、障がい者相談員の事務等について、平成19年度から権限移譲を受ける。		— 行政改革・政策評価推進室
	外部監査制度の導入	先進地である市町の事例を検討した。		— 監査委員事務局
	猟友会組織の統合	平成18年6月に伊賀市猟友会が設立された。		— 農林政策課
	窓口の利用時間延長	平成18年度から毎週木曜日午後7時30分まで窓口を延長している。 利用者数396人、利用件数707件の利用があった。		— 住民課
	イベント開催時の連携・調整	広報紙、行政番組でお知らせしている他、市ホームページの行事カレンダーに随時掲載している。		— 企画調整課・広聴広報課
	上下水道使用料の一括徴収の検討	電算システム未導入であった大山田支所分の構築及び9月からの稼働、伊賀支所分のシステム組み込みが終了し、19年4月から伊賀市下水道料金システム統合が完了する。		— 下水道課
	観光関係団体事務局事務の見直し	伊賀市観光協会会長連絡会議の協議を経て、平成19年1月9日に伊賀市観光協会連絡会議を設置し関係者が一同に会して協議していくための体制づくりを行った。		— 観光振興課
	国際交流員の見直し	国際交流員の任期切れの平成18年8月1日から1名に削減2名から1名にした。	3,200	文化国際課
	直営し尿収集範囲の縮減	平成20年度より収集地区の一部を許可業者に移管することを検討した。 収集車両1台、嘱託職員3名を削減した。	6,555	浄化センター
	指定ごみ袋制度の導入	19年1月より導入した。平成19年1月から3月の3ヶ月間で前年度の同期間と比較して266,150kg、6.15%減量。指定ごみ袋取扱店募集233店登録があった。		— 清掃事業課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
事務・事業の再編・整理・廃止・統合	環境基本計画の策定	環境基本計画を策定した。	—	環境政策課
	水道事業整備計画の策定	市民アンケート調査により水道に対する意識やニーズが明らかになった。 外部委員会において、水道事業の統合に向けての給水人口・給水量・水源計画の承認を得た。	—	水道総務課
	同和行政推進計画の策定	生活実態調査が実施でき年度末に分析報告が完了した。	—	同和課
	水道事業評価の実施	平成17年度に設置し、新規事業の事前評価を実施している。	—	水道施設課
	基金活用奨学金	4つあった各基金の運用の違いにより年度毎に奨学金対象人員に変動があったが、今後は毎年2名に支給することができる。「ササユリ奨学金」として運用する。	—	教育総務課
	中学校9校分について給食センター整備	19年4月5日に「いがっこ給食センター夢」が竣工し、同11日から市内全中学校度に学校給食を実施する。	—	教育総務課
	伊賀水田ビジョンの見直し	水田農業推進協議会設立準備会を開催し水田農業ビジョンの検討を行った。 各集落座談会を開催し水田農業ビジョン案の説明を行った。	—	農林政策課
	個人給付の統一	水田農業ビジョンに基づく新たな市単独事業（案）により、新年度から個人給付の統一を図る。	—	農林政策課
	団体補助の統一	農林政策担当課長会及び聴き取り等により調整 団体補助の統一を図り、支援効果を評価する体制を確立する。	—	農林政策課
	自主運行バス・行政サービス巡回車の見直し	市の将来像、基本方針、バスサービスの基本的な考え方、見直しの方向性等を取りまとめた交通計画案と具体的施策を盛り込んだアクションプログラム案を策定した。	—	企画調整課
	合併処理浄化槽関係補助金の見直し	修繕補助金を平成18年度から廃止した。 設置補助金は金額の統一を行った。	5,197	下水道課
	芭蕉顕彰組織の統合	平成19年4月1日付けで財団法人芭蕉翁顕彰会といがまち芭蕉翁顕彰会が統一される。	—	文化国際課
国際交流協会の統合	平成19年4月1日付けで、伊賀市国際交流協会が設立される。	—	文化国際課	